

# 避難方法の検討

①伊豆の国市防災マップで  
自宅の浸水リスクを確認  
避難方法を考えるために、  
まずは自宅や周辺の浸水する  
危険性を把握しましょう。



▲伊豆の国市防災マップ  
(令和3年3月各戸配布)

自宅の場所や住んで  
いる階などで、避難  
方法は変わります。  
自分の環境に合った  
避難方法を把握して  
おくことが大切です。

②自宅の浸水リスクを  
踏まえ、避難方法を検討  
自宅の浸水リスクを把握し  
たら、下のフローチャートを参  
考に避難方法を考えましょう。

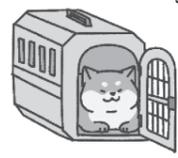
# 避難所に着いたら

「在宅避難」「縁故等避難」  
が難しい場合は、避難所へ避  
難します。避難所は共同空間  
になるため、運営は避難者同  
士で助け合います。また、  
体調を崩さないように注意し  
ましょう。



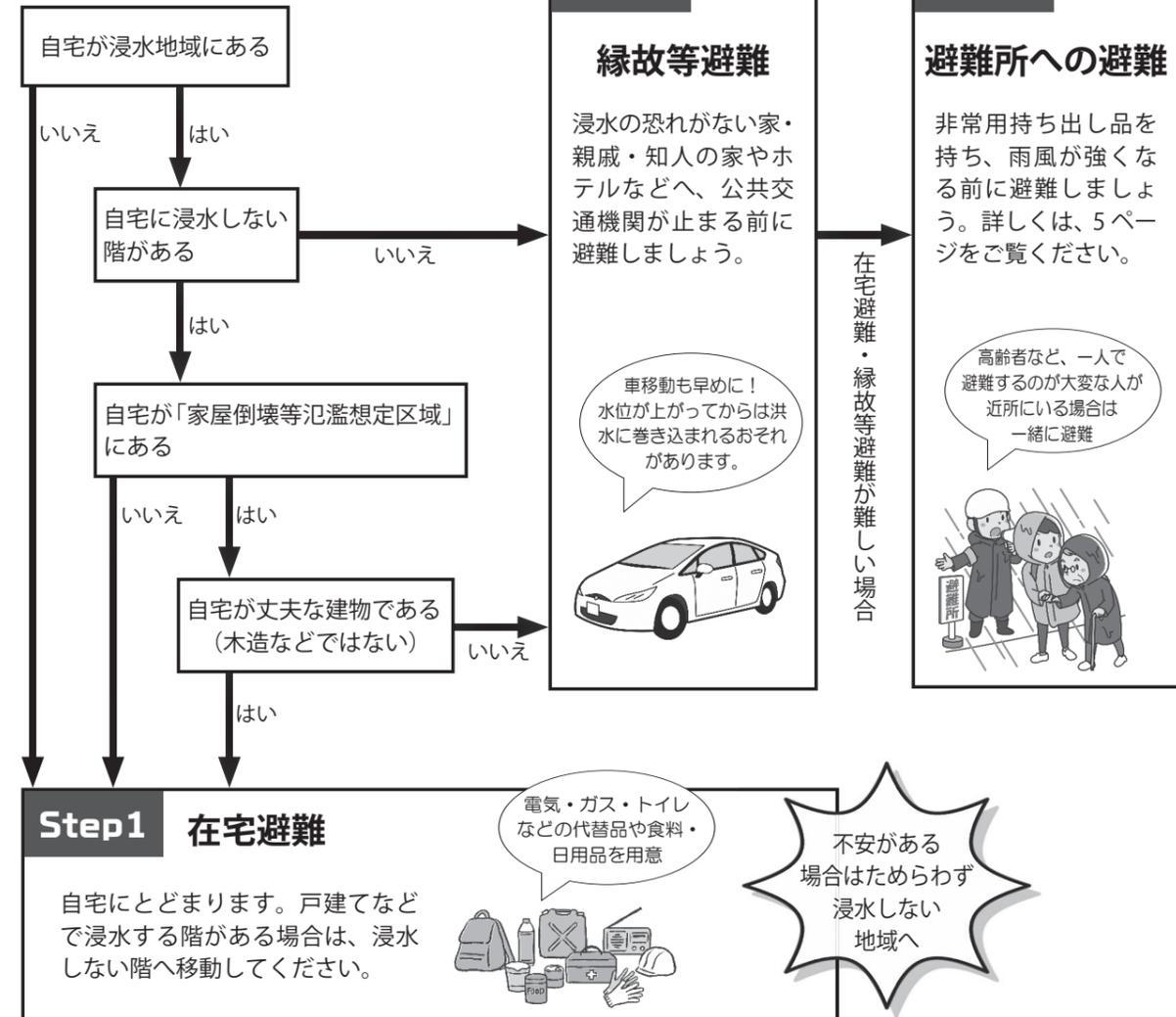
## ○ペット動物との 同行避難について

飼い主とは異なる場所に避  
難します。ケージ、リード、  
エサ、シートなど必要になる  
ものは必ず持参してください。  
共同生活になるため、日  
ごろから避難のために必要な  
「しつけ」や「健康管理」をし  
ておきましょう。



# 避難方法 フローチャート

## START



## ○37・5℃以上の人は 居室を分ける

感染症対策のため、受付時  
に37・5℃以上の熱がある人  
の居室分けを行います。  
※体調が悪い、または37・5℃  
以上ある人は、受付時にあ  
らかじめお知らせください。

## ○避難当日の食料・水は 自分で用意

火やお湯を使わない食料や  
水、タオルなど必要なものは  
必ず持参してください。  
災害時に備えて、日ごろか  
ら、最低3日分の備蓄をしま  
しょう。日常使う食料や非常  
用の食料品を、消費しながら  
備蓄していくローリングス  
トックも有効です。  
※市の備蓄品は河川が氾濫  
し、避難の長期化が見込ま  
れる場合に使用します。

# 非常事態に備えて 今から万全な準備を！

「在宅避難」「縁故等避難」が難しい人は、避難所へ避難  
します。いざというときにすぐ避難できるように、今の  
うちから非常用持ち出し品などの準備を始めましょう。

### 非常用持ち出し品

食料  
飲料水  
携帯充電器  
常備薬・お薬手帳  
予備電池  
携帯ラジオ  
懐中電灯  
ティッシュ・ウェットティッシュ

※掲載したものは代表例です。詳しくは伊豆の国市防災マップをご覧ください。



### ローリングストック

日ごろから使っている食料品・生活必需品を少し多めに購入しておくことで災害時の備えになります。  
古いものから使っていき、使った分だけ買い足していくローリングストックを心がけましょう。

備える  
食べる  
買い足す